

# すべての人が自分らしく生きられる社会を創ります！

## まちのベース 安全に生活できて移動しやすいまち越谷

すべての人にとって利用しやすいユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

- 街路灯と防犯カメラの増設
- 自転車の安全な通行環境を整備
- 公共交通の充実
- 東武線北越谷以北の高架化
- 空き家対策の推進
- 大袋駅東口の整備
- 水害対策の強化
- 5Gや光ファイバーなどの通信インフラ整備

## 住みたいまち越谷

- **地区センターの行政サービスを拡充**
- **子育て施策**
  - ・待機児童0を目指した保育施設の整備
  - ・安心して出産育児ができる妊産婦支援の拡充
- **教育施策**
  - ・ICT・外国語教育の推進
  - ・特別支援教育支援員や学習サポーターの増員
  - ・トイレ洋式化の推進
  - ・体育館の遮熱性向上
- **健康増進施策**
  - ・地域包括支援センターにリハビリ専門職の配置
  - ・自治会館や接骨院などでの健康増進活動を拡充
  - ・医療・介護情報共有システムの充実
  - ・市民が健康情報を管理できるシステムの構築
- **障害福祉施策**
  - ・障がい者就労と余暇支援の拡充
  - ・手話言語条例の活用
- **動物愛護の推進、犬・猫の殺処分0を継続**

## 行きたいまち越谷

インバウンド振興策の一環として積極的なMICEの誘致

- **宿泊施設、会議やセミナー、展示会などコンベンション開催に不可欠な施設の整備**
- **働き方改革に対応した環境の整備**
  - サテライトオフィスなど、テレワークできる環境整備
- **オンリーワンの道の駅を設置**

## 働きたいまち越谷

地元産業（農業、工業、商業）と最先端のITを掛けあわせてイノベーションを起こす

- **ICT企業の誘致**
- **行政のもつビッグデータの活用と産学官連携の推進による新たなサービスの開発**
  - オープンデータ&オープンイノベーションの推進
- **女性・高齢者・障がい者・外国人の雇用機会を創出**
  - ダイバーシティ&インクルージョンの推進



## 4年前に掲げた公約の現状

- ① 行政に地域包括ケアシステム構築に向けた専門部署を設置
  - 実現 地域包括ケア推進課と担当部長を設置
- ② 医療と介護の連携拠点を設置
  - 実現 越谷市医療と介護の連携窓口を越谷市医師会に委託
- ③ 多職種がITを活用してリアルタイムに情報共有できるシステムの構築
  - 実現 ICTを活用した医療・介護連携の情報共有システムを活用
- ④ 行政主導による医療職、看護職向けの研修を新設
  - 実現 市内医療機関向けに地域包括ケアに関する出前講座の開催
  - 実現 市立病院主催で病診連携症例検討会など7つの研修会を開催
- ⑤ 身近な自治会館などで健康増進教室を開催
  - 実現 介護予防リーダー養成講座修了者23団体が自治会館等で教室開催中
- ⑥ 地域包括支援センターにリハビリテーション専門職の配置
  - 進行中 リハビリ専門職に介護予防リーダー養成講座講師や介護予防出張講座を委託
- ⑦ 母子保健コーディネーターの配置
  - 実現 子育て世代包括支援センターを設置
- ⑧ 待機児童ゼロ
  - 進行中 保育利用定員を平成27年度4,547人から平成31年度5,605人に拡大
- ⑨ 障がい者が短時間労働など多様な形態で働ける職場の拡大
  - 実現 知的障がい者を短時間労働の臨時採用職員として2名採用
- ⑩ 小中学校のトイレ洋式化を推進
  - 実現 洋式化率を平成27年度26.73%から平成31年度31.45%に推進 ※城ノ上小学校を除く
- ⑪ 小中学校にエアコン整備
  - 実現 全小中学校普通教室にエアコン設置
- ⑫ 特別支援学級の増室
  - 実現 平成27年度 小学校19校42学級、中学校7校22学級から平成31年度 小学校21校60学級、中学校8校24学級に増室
- ⑬ 特別支援教育支援員の増員
  - 実現 平成27年度45人から平成31年度56人に増員
- ⑭ 教職員や一般市民向けの発達障害への理解拡大
  - 進行中 教育センター主催で教職員向けに2つの協議会、5つの研修会を設けているほか、発達支援訪問指導を平成30年度は12月までに130回実施
- ⑮ 人材（財）の地産地消
  - 進行中 越谷合同企業面接・説明会、職業能力開発支援事業、若年者等就業支援事業を開催
  - 進行中 私のインターン生が市内の行政・医療・保育・障がい・介護事業者と交流会を開催

～他の議員や行政、関係団体等との連携協力により進んでいます～